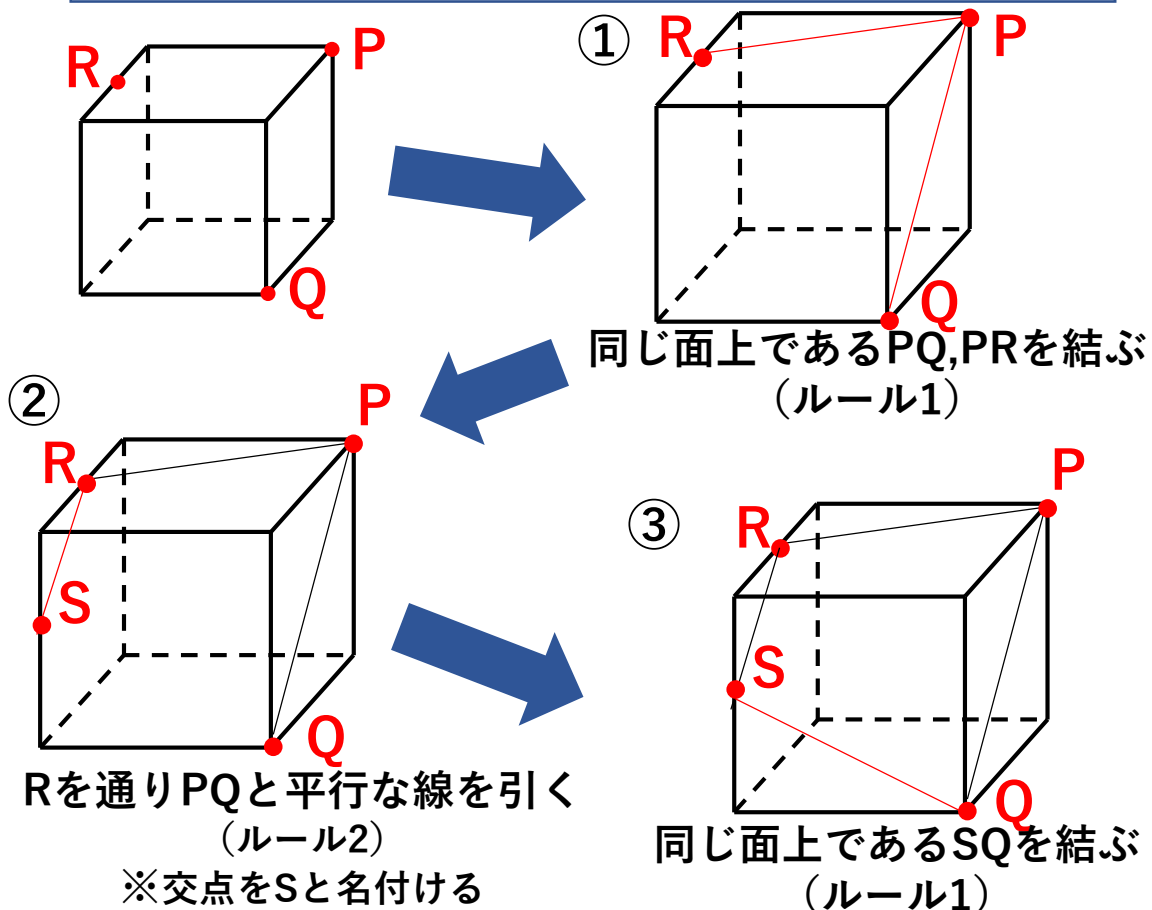


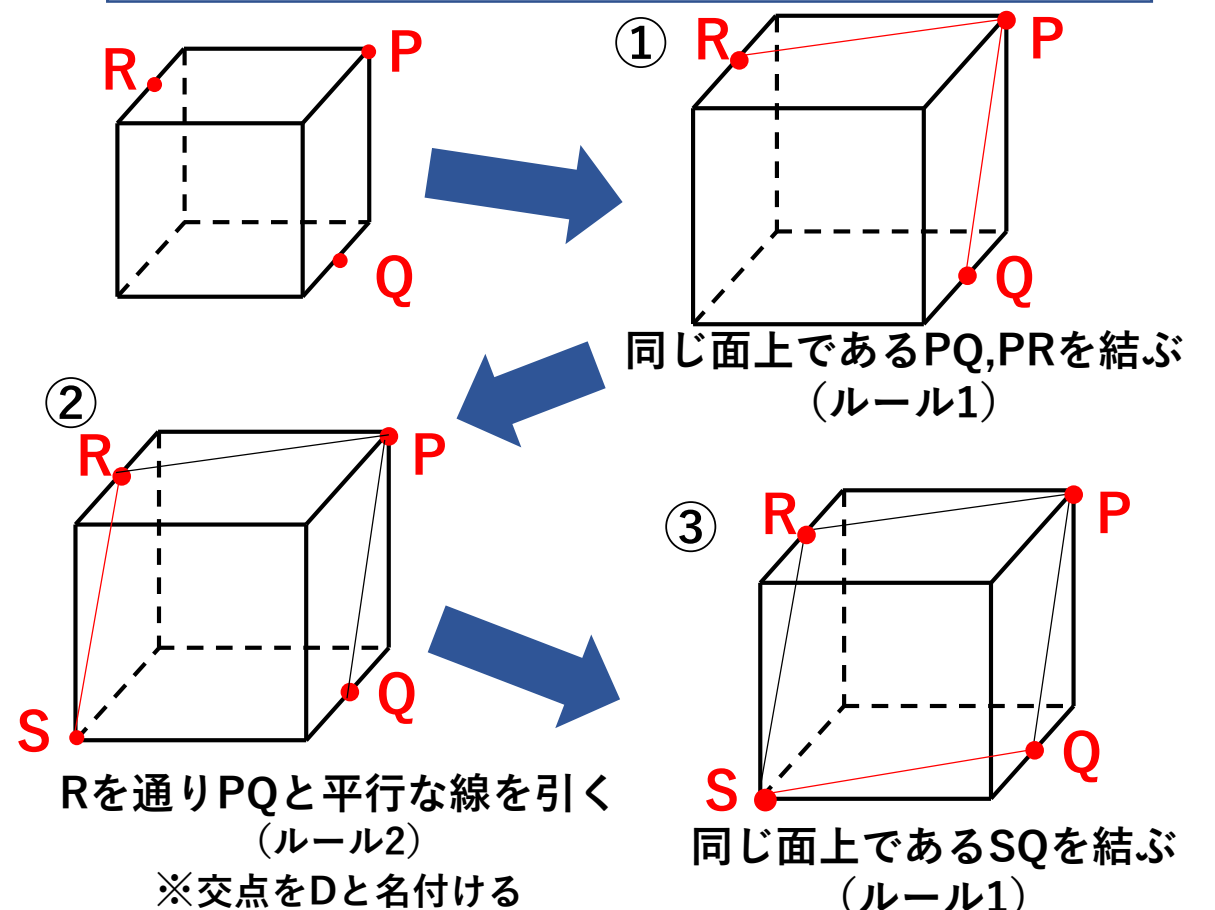
# 立体切断 ～2つの原則～

- 立体切断の際は、「2つのルール」と「1つの追加作図」で概ね対応可
- まずは、「1.同じ面の2点は直線で結ぶ」「2.向いの面の切断線は平行」という2つのルールを完全にマスターすることが肝要

例1

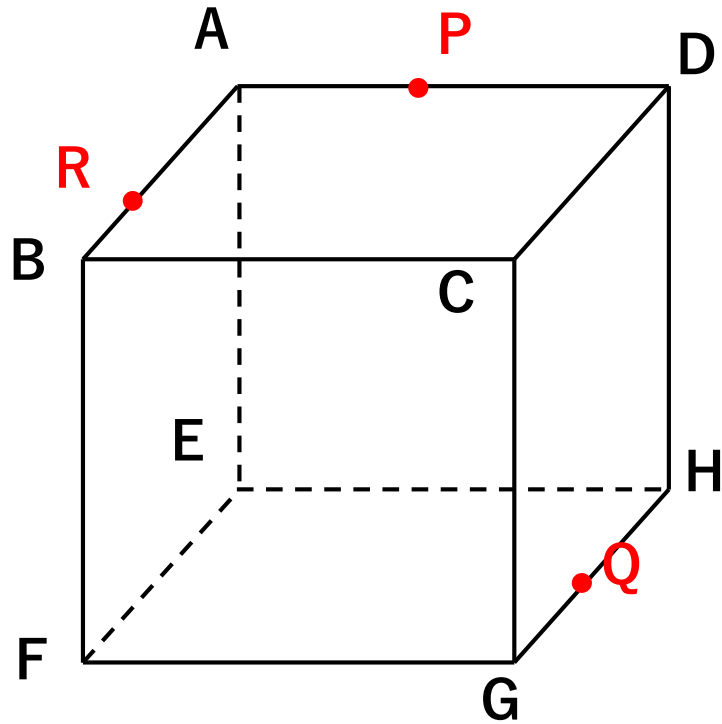


例2

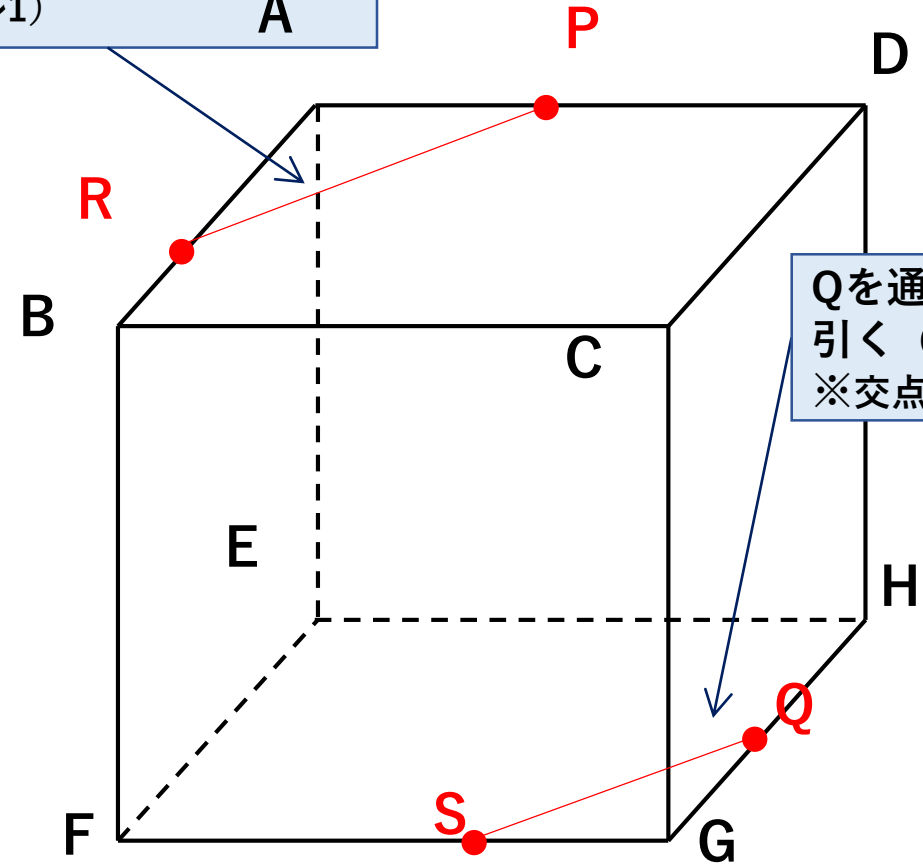


# 立体切断 ～2つの原則でできないパターン～

■ 前述のルール1,2で、切断線を確定しきれないケースが存在する



同じ面上であるPRを結ぶ  
(ルール1)  
A



Qを通りPRと平行な線を  
引く (ルール2)  
※交点を点Sと名付ける

➡ 前述のルール1,2のみでは、ここで手詰まりとなる、  
もし「平面CDGH上の、点Q以外にもう一つ通る点」がわかれば線が引けるのに・・・

# 立体切断 ～立方体の外の点を取る～

■ルール1,2のみで切断面を確定できない場合、「切断線&面を延長し、わかっている点と同じ面の点を作る」必要がある

■新しい点（下図、点T）を取った後は、同様にルール1,2通りに線を引いていく

